

都市再生整備計画 事後評価シート
荒尾周辺地区

平成26年3月

愛知県東海市

様式2-1 評価結果のまとめ

都道府県名	愛知県		市町村名	東海市		地区名	荒尾周辺地区			面積	414ha		
交付期間	平成21年度～平成25年度		事後評価実施時期	平成25年度		交付対象事業費	782.7百万円	国費率	0.4				
1) 事業の実施状況	当初計画に位置づけ、実施した事業		基幹事業	市道細田3号線、平洲と大仏を訪ねる花の道、渡内2号公園、寺徳1号公園、聚楽園公園、平洲の歴史を感じるルート整備									
			提案事業	平洲記念館リニューアル事業(平洲記念館)、土地区画整理事業(名和南部西地区)、上野公民館耐震改修事業(上野公民館)、障害者地域交流事業、事業効果分析調査									
	当初計画から削除した事業		基幹事業	・中川右岸線 ・荒尾第二号公園、渡内3号公園			削除/追加の理由			削除/追加による目標、指標、数値目標への影響			
			提案事業	なし			-			指標5(地区内の公園面積)は、事業完了年度の3月末の整備面積が目標値となっていることから、当該公園面積を加除し、目標値を変更(目標値31.9ha→31.4ha)			
	新たに追加した事業		基幹事業	・名和南部西1号公園 ・平洲と大仏を訪ねる花の道			-			影響なし			
			提案事業	なし			-			-			
交付期間の変更		当初	平成21年度～平成25年度		交付期間の変更による事業、指標、数値目標への影響		-						
		変更	-										
2) 都市再生整備計画に記載した目標を定量化する指標の達成状況	指標		単位	従前値		目標値		数値		目標達成度	1年以内の達成見込み	効果発現要因(総合所見)	フォローアップ予定時期
				基準年度	目標年度	モニタリング	評価値						
	指標1	郷土の歴史などに愛着を持っている人の割合	%	49.6	H19	49.6	H25		48.5	△	あり	平洲と大仏を訪ねる花の道等の公園や、情報板を兼ね備えた散策路の整備をすることで市民へ郷土の歴史を感じる場を提供することは出来たが、施設を利用した事業が少なかった。	平成27年5月
	指標2	まちの公園・街路樹などに満足している市民の割合	%	57.6	H19	65.0	H25		67.9	○	あり	地区内の土地区画整理事業と合わせた公園整備事業や、平洲と大仏を訪ねる花の道等のネットワーク整備事業により、施設面の充実と施設利用の選択肢の増加が、指標に現れた。	平成27年5月
	指標3	市内を車で移動するときにスムーズに出てくると思っている人の割合	%	64.9	H19	75.4	H25		73.9	△	あり	都市計画道路名古屋半田線と関連する土地区画整理事業地内等の道路の一体的な整備により、歩行者の安全確保や地区内外へのアクセス向上等が図られ、スムーズな車移動への評価が高まったものと考えられる。	平成27年5月
	指標4	子供の教育について学校・家庭・地域の連携が十分だと思う人の割合	%	24.5	H19	40.0	H25		31.7	△	あり	平洲と大仏を訪ねる花の道等の公園や、平洲記念館のリニューアル事業をすることで市民へ郷土の歴史を学習する場を提供することは出来たが、施設を利用した事業が少なかった。	平成27年5月
指標5	地区内の公園面積	ha	31.1	H19	31.4	H25		32.3	○	あり	各公園整備が計画通りに進み、公園緑地面積の拡大につながった。また、公園整備と一体的に土地区画整理事業による面的な住環境整備も行われており、これらの事業が心地よく健康に暮らすことのできる住環境づくりに寄与していると考えられる。	平成26年5月	
3) その他の数値指標(当初設定した数値目標以外の指標)による効果発現状況	指標		単位	従前値		目標値		数値		目標達成度※1	1年以内の達成見込み	効果発現要因(総合所見)	フォローアップ予定時期
				基準年度	目標年度	モニタリング	評価値						
	その他の数値指標1	アダプトプログラム登録団体数	団体	7	H20				9			地域資源を活かした公園、情報板等の一体的な整備や、アダプトプログラムの推進等により、地域資源を活かしたまちづくりに対する地域住民等の意識が向上し、地区内のアダプトプログラム登録団体数の増加につながったものと考えられる。	平成26年5月
その他の数値指標2	地域生活支援施設利用定員	人	4	H19				14			障害者地域交流事業による施設整備(荒尾ホーム)が行われたことにより、地域生活支援施設の利用定員が増加し、多世代住民の交流に向けた住環境づくりに寄与したのと考えられる。	平成26年5月	
4) 定性的な効果発現状況	公園整備事業の実施にあたり、地域住民とのワークショップを行ったことで、公園への愛着心やまちづくりへの参加意識が高まった。												
5) 実施過程の評価	実施内容					実施状況					今後の対応方針等		
	モニタリング	-					都市再生整備計画に記載し、実施できた 都市再生整備計画に記載はなかったが、実施した 都市再生整備計画に記載したが、実施できなかった						
	住民参加プロセス	渡内2号公園ワークショップ					都市再生整備計画に記載し、実施できた 都市再生整備計画に記載はなかったが、実施した 都市再生整備計画に記載したが、実施できなかった					● 地域が利用する施設を整備する場合は、地域住民の意見を極力反映し、施設の利用促進や植栽等の維持管理促進を図る。	
	持続的なまちづくり体制の構築	アダプトプログラムなどを通じた地元まちづくり組織や民間企業との連携					都市再生整備計画に記載し、実施できた 都市再生整備計画に記載はなかったが、実施した 都市再生整備計画に記載したが、実施できなかった					● 今後もアダプトプログラムを通じた地域住民や民間企業等への活動支援を行うとともに、広報、HP等を通じた普及促進を図る。	

様式2-2 地区の概要

荒尾周辺地区(愛知県東海市) 都市再生整備計画事業の成果概要

まちづくりの目標	目標を定量化する指標		従前値		目標値		評価値	
	指標	単位	値	年	値	年	値	年
大目標: 郷土の文化と元気が調和した健康で快適に暮らせる緑豊かなまち ◆歴史資源である平洲と大仏を訪ねる花の道づくり ◆多世代住民の交流に向けた、心地よく健康に暮らすことができる住環境づくり ◆まちの魅力維持・醸成に向けた市民参加の環境づくり	郷土の歴史などに愛着を持っている人の割合	単位: %	49.6	H19	49.6	H25	48.5	H25
	まちの公園・街路樹などに満足している市民の割合	単位: %	57.6	H19	65.0	H25	67.9	H25
	市内を車で移動するときにスムーズに出来ていると思っている人の割合	単位: %	64.9	H19	75.4	H25	73.9	H25
	子供の教育について学校・家庭・地域の連携が十分だと思う人の割合	単位: %	24.5	H19	40.0	H25	31.7	H25
	地区内の公園面積	単位: ha	31.1	H19	31.4	H25	32.3	H25



まちの課題の変化

- ・地区内の公園、道路等の一体的な整備により、「点の緑」と「線の緑」が創出された。
- ・聚楽園公園でのアダプトプログラム登録団体による活動が開始されるなど、地域住民や事業者等によるまちの美化が推進された。
- ・平洲記念館リニューアル事業、平洲の歴史を感じるルート整備、平洲と大仏を訪ねる花の道の整備などにより、地域の歴史や独自性を感じられる環境整備が進んだ。
- ・障害者地域交流施設、公園、公民館の整備等により、新旧住民や多世代住民が安心して集える交流の場が創出された。

今後のまちづくりの方策(改善策を含む)

- ・地域住民や事業者等と連携したまちの緑を守り育てる活動を推進する。
- ・整備された平洲記念館、歴史の道、花の道等を活用し、平洲の歴史を継承・普及する取組みを推進する。
- ・整備された公園、交流施設等を活用し、市民の交流に向けた取組みを推進する。
- ・土地区画整理事業が完了し、地区内人口の定着が進んでおり、早急な公園整備が必要である。